

若者を受け入れる社会に働きかける 中小企業とネットワークをつくる

特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク
高橋薫



若者サポートステーション

働くことについてさまざまな悩みを抱えている15歳～39歳くらいまでの若者が就労に向かえるよう、多様な支援サービスでサポートする。全国173か所。



- ① 若者支援の専門家による、一人一人の状態にあわせた相談
- ② ステップアップのためのプログラム
- ③ 職場見学・職場体験
- ④ その他セミナー

○体験止まりの支援

学歴・経歴・リアルな体験の不足などにより、面接がハードルとなっている若者が多い。また、就職しても思うように職場との関係が築けず、続かない。

→緩やかに職場へとつながり、ステップアップしていく（育っていく）仕組みが必要。

○一企業の限界

職員の高齢化・人手不足、一職員の負担過多など、持続可能ではない。企業の側も思いがあっても余裕がない。効率・キャパシティ...

→ネットワークで支え合えないか。



若者就労サポートネット会議

スローガン 明日を創る経営者集団を目指そう



企業ネットワーク 顔の見えるネットワーク



企業ネットワーク 就労後もともに働く仲間として



若者のニーズは、支援機関と就労現場とのパートナーシップがとれている職場とつながれること。そしてそうした職場が複数あり、状況に応じて移動が可能であること。

→つまり、企業家のネットワーク（学び合いの場）をつくり、若者支援団体と協力して若者を企業ネットワークにつなぐ中間支援が必要。そこに企業が参加しているということがポイント。

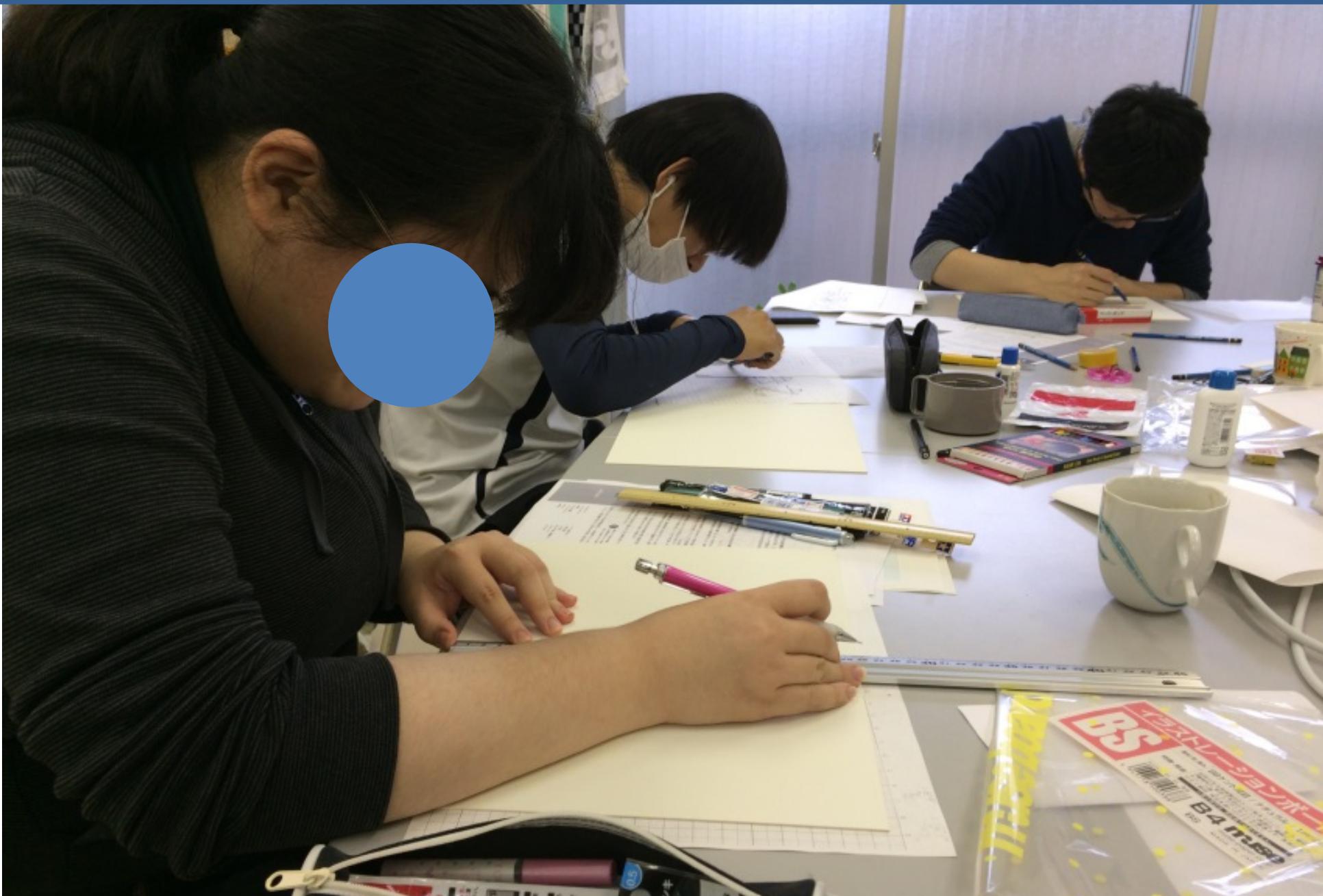
ひきこもりの若者の中には、ITに興味がある、もしくはその業界を通過してきた人も少なくない。これまでネットワークができていた企業は印刷業界が多い。しかし、働くことそのものへの違和感・恐怖感を抱き、働くことの意味さえも失いかけていた若者も多い。

- 企業・社会に支えられながら若者ニーズ中心の媒介的（中間的）職場があったら...
 - 「そもそも働くって...」を働きながら学びとっていく社会的企業。

若者中心の職場づくり 週4日約6か月の企業研修&デザイン演習



若者中心の職場づくり 週4日約6か月の企業研修&デザイン演習



若者中心の職場づくり 週4日約6か月の企業研修&デザイン演習



若者中心の職場づくり 週4日約6か月の企業研修&デザイン演習

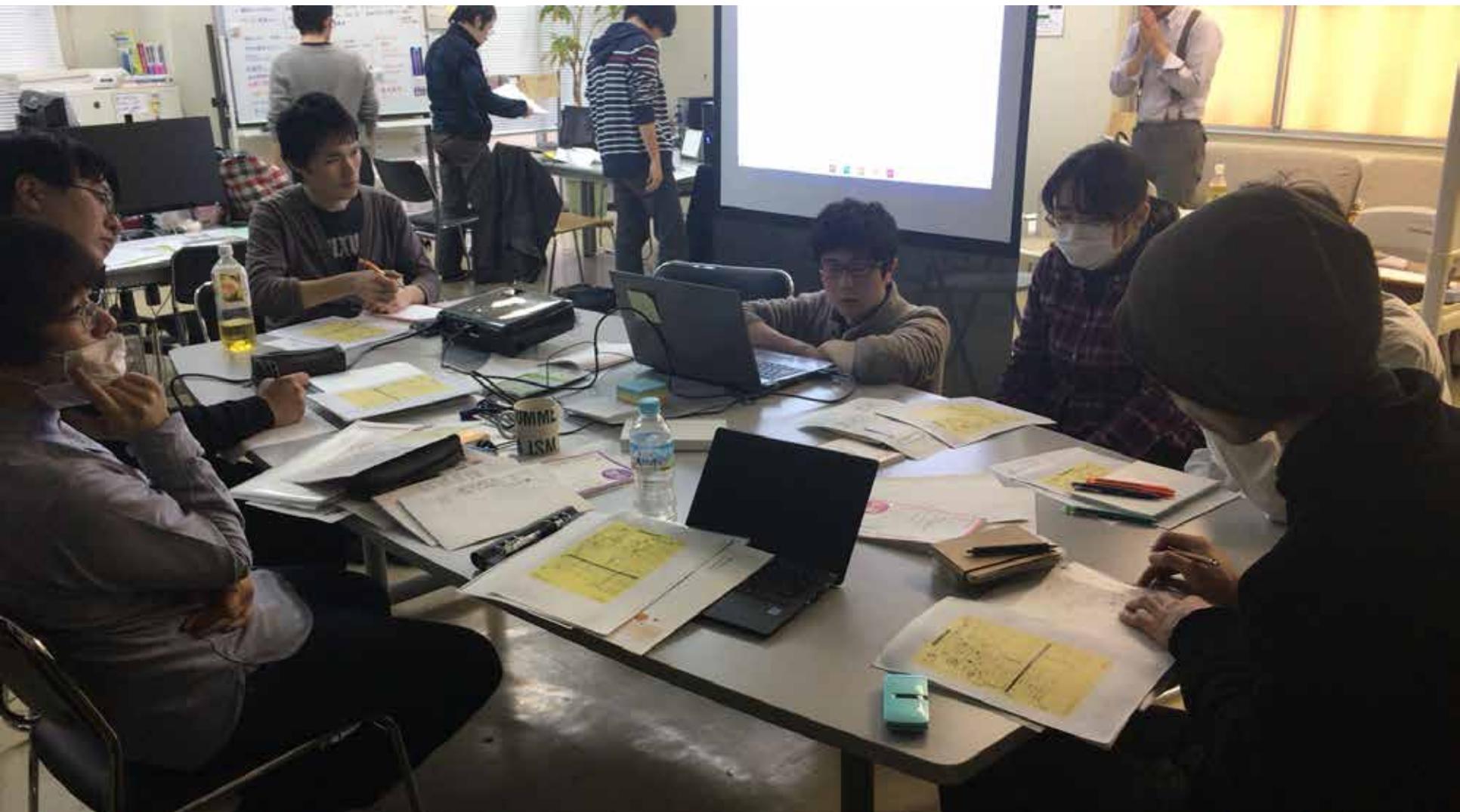


若者中心の職場づくり 週4日約6か月の企業研修&デザイン演習



若者中心の職場づくり

ミーティング重視—仕事の進め方・あり方を議論



若者の社会復帰を阻む壁

不安感



転落する不安
責任への不安

孤独感



一緒に考え、模索してくれる人がいない
自分が分からない
自己選択できない

目的や意味の喪失



やりたいことが出来ない
やりたいことが分からない
仕事の意味が分からない

ゆるやかな参加の仕組み

どの段階へも参加できる間口の広さ



サポステ

訓練生

研修生

パート

フルタイム

一般就労



少しずつ活動の範囲を広げられる
次の段階が「地続き」になっている安心感



失敗することが保障されている場
もしダメでも次の段階を一緒に考えられる

仕事を進める仕組み

すべての仕事を全員で話しあって決める

サポ
ステ

サポステや関連団体など
内部の仕事

連携している企業
など外部の仕事

一般
就労



自分がどこまで出来るのか知ることができる
新たに挑戦したり提案したりできる



リアルな仕事を通してお客様から反応がある
実際の仕事への恐怖感を克服できる

**社会に支えられながら
多様な働き方を主体的に
選択できる職場**

若者の内面的な課題の克服
キャリアアップ・スキルアップ
労働環境の見直し・改善

こうした取り組みが若者支援に波及することで、
若者も社会も刺激を受けるのでは